

<http://language.sakura.ne.jp/s/>

神戸大学石川研究室 2014 年度英語オーラル中間授業評価

(授業の概要)

国際英語の発音指導，聴解・発話トレーニング，国際教養の強化，多元思考の開発などを目的とした「英語オーラル」の授業。必修。授業は Dictation（事前に課題として配布した英語ニュースの聞き取りテスト），Free Talk（ニュースのテーマにかかわる自由会話），Lecture（英語発音にかかわる講義），Pronunciation（発音実技テスト），Song（歌の聞き取り），Reading（歌にかかわる短い英文の読解）の 6 つのモジュールで進行し，授業はすべて英語で行う。

(調査の概要)

本調査は，2004 年度より授業改善のために研究室が独自に実施しているもので，今回の調査は前期 15 回の授業中，5 回目ないし 6 回目（2014 年 5 月 19 日／21 日）の冒頭に実施。満足度を 10 点満点で回答させたあと，評価点・改善点を記述させる。匿名でオンラインより回答。以下は回答すべてを編集なしで掲載したもの。

神戸大学石川研究室 2014 年度前期英語オーラル中間授業評価

月 1（発達 1 年）

満足度平均点 7.74

評価点：／楽しい！！！！！！／・発音の仕方の説明が分かりやすい点。／英語をしやべれる／英語ばかりなので，いい勉強になる／発音について詳しくやるところ／英語の音楽を聴くところ／発音の訓練／先生がおもしろい。授業のテーマも有名なものばかりで興味が持てる。／発音の違いを細かくやってくれるのでわかりやすい／先生が面白い／先生が英語で授業をされる点／生の英語に触れ合うディクテーションがある点／英語の音楽を聴きながらの授業なので，楽しんで受けられる点／楽しい／・生きた英語に触れられたところ。／つねに，テンポがよくて楽しい／・すべて英語。／・↑の英語がすべてわかりやすい。／・発音が詳しく学べる。／先生が面白い。／全部英語で話しているところ。／・ネイティブの英語を毎回聞ける。／分からない／全部が英語での授業である点／自分が苦手出来なかった発音の練習をしてくださるところがいいです。／より実用的な英語を学ぶことができる／コミュニケーション能力が身につくそう。／授業をすべて英語で行うのは良いと思う／すべて英語の点／説明がおもしろくてわかりやすい／正しい発音をわかりやすく学べる／・先生の話す英語を聞いて，どのように簡単に物事を伝えるか学ぶことができる／・実際に話されている英語を聞き，聞き取ろうとすることができる／・取り上げ

られている話題が面白い／・詳しい発音を学ぶことができる／・一回の講義の中でも6つに分かれたモジュールがあるのが面白い。／・高校ではやらなかった発音の区別を教えてもらえるのがいい。／全て英語で授業が行われていることです。頑張って聞き取ろうとする意識が高まるので、授業に集中できます。／先生の英語が上手なこと／生の英語に触れられること／日本語をつかわない。／英語のみで授業する点／・発音が丁寧に教えてもらえる／・予習可能なところ／授業で用いられる言葉が聞き取りやすい英語であること／・説明がわかりやすい／・発音がよくなる気がする／リスニングが課題含めて多くできること／先生の英語がとても聞き取りやすい。／おもしろい／英語の音楽を聴けるのが楽しい／英語の発音について、詳しく教えてもらえて、実際に練習できること。／リスニングテストの後の先生のパワーポイントを使った説明がおもしろいので楽しみ。／歌詞の聞き取りなどがグループワークなのがいい。／おもしろい／・英語の発音のやり方を細かく教えてくれる。／・聞き取りのニュースが面白い。

改善点：／特にないです／・時間内にする項目が少し多い点。／ちょっと進行が早くなるときがある／生徒が理解しなければならないところはもう少し日本語をつかってほしいと思う／特になし／特になし／特になし／プリントが小さく書き込みにくい／授業内容の項目が多い点／特になし／・音源と一緒に解答も前もって確認したい。／課題の音声の質が悪い／・TOEICの配点が大きい。／プリントが小さい。／・ディクテーションの全文と全訳を配ってほしい。／分からない／英語で質問されて、英語ですぐに返せないのに、考えている間に先生がほかの場所に行ってしまう点／リスニングの難易度をもう少し落としてほしい。／とくになし／リスニングテストが難しい。／とくにありません／リスニングのテストが難しすぎて、何度聞いても聞き取れない。／特になし／リスニングが難しすぎる／・プリントの文字、書き込むスペースが小さい／・答えあわせの時間が短い／・ディクテーションテストはもうちょっと回答する時間を長く取ってほしい。／特にありません。／特にありません／特になし。／なし／・発音テストで点が取れなかったとき、どこをどう直すべきかがわからない／生徒に英語を使わせる時間をもう少し長くしたらよい／・ディクテーションテストが難しい／もっと英語で話したい／リスニングテストの難易度が高すぎて何回聞いてもわからないのでスクリプトがほしいです。／進行がはやいので時々ついていけないです。／リスニングの音声だけだとどうしても聞き取れないところがあるのであらかじめスクリプトも配ってほしい／・聞き取りのファイルのダウンロードがしにくい。／

講師コメント：授業改善に向けて

回答ありがとうございました。すべて英語による授業ということで、学生諸君の反応について若干の心配がありましたが、全体的な満足度が7ポイントを超えており、一定の評価が得られましたので、基本的には現在の授業スタイルで進めていきたいと考えています。

評価のポイントとしては、1)すべて英語による指導であること、2)活動が多く飽きにくいこと、3)ニュースなど内容や背景知識に興味を持てること、などが多いようです。これらの点については後半の授業でも大事に扱っていきたいと思います。

一方、改善のポイントとしては、1)内容を詰め込みすぎで時間に不足感があること、2)発音テストへのフィードバックが不足していること、3)英語の説明でわからないときがあること、4)課題にしているディクテーションがむづかしいこと、などがあがりました。今後、時間配分についてはモジュールとモジュールの間に少し時間をおいて質問を受け付けるなど、あわただしさを少しでも改善できるよう修正を試みたいと思います。発音テストのフィードバックについては授業の枠内では個人指導が行いにくいことから、メールなどで個別指導を予約していただければ可能な範囲で対応したいと思います。説明内容については、とくに試験などの重要事項に関しては日本語のハンドアウトを初回に配布して理解の助けにしているつもりではありますが、授業の後などでも遠慮なく何度でも質問に来てもらえればと思います。

最後のディクテーションの難度については例年そうした声を聴くのですが、実際の英語がそういうものであることをふまえると、安易に難度を下げるという風な解決をとるのではなく、なんとかふみとどまって少しでも聞き取れる部分を増やしてほしいと思います。初回にも申しましたが、英語の授業（とくに日本のような非英語圏において）では「本物の英語（authentic English）」に触れる時間をきちんと確保することが重要で、むづかしいからといって、日本人用にやさしく加工したものを教材にするよりも、そのほうが、結局は耳の訓練に良いと考えます。私自身もかつて聞き取りに苦労したので気持ちはよくわかりますが、今のつらいトレーニングの先に聞き取り力の上昇が期待できるので、もう少し頑張してほしいと思います。

なお、別途実施した学びたい英語タイプの調査結果は、アメリカ英語の話し言葉>アメリカ英語の小説>アメリカ英語の雑誌>イギリス英語の小説・・・の順でした。今後の教材や授業コンテンツ開発の参考にさせていただきます。

貴重なご意見に感謝します。いただいた意見を参考にして、後半授業の改善に努めます。良い授業というのは、学生だけでも、教員だけでも作ることができず、両者の前向きな協力のもとにはじめて実現するものです。残りの授業も頑張っていきましょう！

神戸大学石川研究室 2014 年度前期英語オーラル中間授業評価

月 3 (農学部他 1 年)

満足度平均点 7.50

評価点

／英語が聞き取りやすい／眠くならない／特になし。／発音を見直せる。／free talk の時間があること。／テンションが高い／・英語でコミュニケーションをとることができる点
／すべて英語での授業である点／発音の練習をしてもらえる。Dictation の練習をしてもらえる。／授業中、先生が英語で喋ること／時々日本語の説明がある／教材を買わなくてよい。／発音が学べていい。／発音など実際に話すことで身につけていると思う／英語での授業が楽しい。／発音の違いを学べる。／・歌を使用する点／先生の英語がわかりやすいので、聞こうという気になれる。／授業がオール英語なので自然と英語に触れることができること／楽しく英語に触れること／リスニング力がつきそうだから。／発音でなかなか点数がもらえなくて不安です。／リアルな英語を授業中に聞けること／発音の細かい使い分け方の講義などオーラルの実践的な授業形式。／英語以外のことも学べる／すべて英語で授業をしてくださるところ。／すべて英語で授業を展開していること／英語になれることができる／・今まで意識していなかった発音を意識できるようになった点／・積極的にリスニングするようになった点／授業がすべて英語で行われていること／なし／先生が英語で授業をするところ。／洋楽を聴くのは楽しいです。／曲を聞かせてくれるのがよい
／・英語で人としゃべれるのがめっちゃ楽しい。／・発音のテストがためになる。／すべて英語だけの授業で新鮮でおもしろい／時事ネタなので、よく理解できる。／英語で授業してる点／歌の聞き取りが楽しい。／日本語使わないところ／英語で授業するところ。／先生が英語のみで話をする点。／・先生の発音が良い／・テンポがいい／

改善点

／特にありません／常に英語で話されるのはしんどい／特になし。／発音のしかたがわからなくて、つらい。／音楽が古い／難しい／・リスニングが難しい点／なし／実際に日常に使えるフレーズを教わりたい。／有名人の話はもう少し短くてもいい／特になし／小テストをもう少し簡単にしてほしい。／英語が難しく理解できないときがある。／特にありません／もうちょっとゆっくり喋って欲しい。／・リスニング教材を CD 等で配布してほしい／・発音の手本はネイティブスピーカーの方がやってほしい／なし／とくにないです。／発音テストを当日に実施するのは、少し厳しい。／特にありません。／日本語がないのが不便すぎる。／もっと日本語を増やしてほしい。／たまに授業でわからないことがある。／成績評価の見方がシラバスを通してわかりにくい。／疲れているときはしんどい／座席／なし／特になし／・リスニングテストの音声教材をスロー再生でも聞きたいです／・発音の練習からテストまでの時間をもう少しとって頂けるうれしいです／発音の時

間がもう少しほしい／なし／ないです／nothing／ありません／もっとしゃべる機会がほしい／なし／特になし／難しいと感じることがある。／日本語をたまに使うとこ／特になし。／テストで最初にあたる人が不利／・休めない／

講師コメント：授業改善に向けて

回答ありがとうございました。すべて英語による授業ということで、学生諸君の反応について若干の心配がありましたが、全体的な満足度が7ポイントを超えており、一定の評価が得られましたので、基本的には現在の授業スタイルで進めていきたいと考えています。

評価のポイントとしては、1)すべて英語による指導であること、2)活動が多く飽きにくいこと、3)ニュースなど内容や背景知識に興味を持てること、などが多いようです。これらの点については後半の授業でも大事に扱っていききたいと思います。

一方、改善のポイントとしては、1)内容を詰め込みすぎで時間に不足感があること、2)発音テストへのフィードバックが不足していること、3)英語の説明でわからないときがあること、4)課題にしているディクレーションがむづかしいこと、などがあがりました。今後、時間配分についてはモジュールとモジュールの間に少し時間をおいて質問を受け付けるなど、あわただしさを少しでも改善できるよう修正を試みたいと思います。発音テストのフィードバックについては授業の枠内では個人指導が行いにくいことから、メールなどで個別指導を予約していただければ可能な範囲で対応したいと思います。説明内容については、とくに試験などの重要事項に関しては日本語のハンドアウトを初回に配布して理解の助けにしているつもりではありますが、授業の後などでも遠慮なく何度でも質問に来てもらえればと思います。

最後のディクテーションの難度については例年そうした声を聴くのですが、実際の英語がそういうものであることをふまえると、安易に難度を下げるという風な解決をとるのではなく、なんとかふみとどまって少しでも聞き取れる部分を増やしてほしいと思います。初回にも申しましたが、英語の授業（とくに日本のような非英語圏において）では「本物の英語（authentic English）」に触れる時間をきちんと確保することが重要で、むづかしいからといって、日本人用にやさしく加工したものを教材にするよりも、そのほうが、結局は耳の訓練に良いと考えます。私自身もかつて聞き取りに苦労したので気持ちはよくわかりますが、今のつらいトレーニングの先に聞き取り力の上昇が期待できるので、もう少し頑張してほしいと思います。

なお、ネイティブから発音を習いたいという意見もありました。確かにネイティブならではの発音感覚というのはあるので、通常の授業に加え、ぜひ、KALCSの「プレゼンテーションセミナー」などを受講してください（空席がまだあるそうです）。総合的な英語力を磨くいい機会になるはずです。また、後期に上級クラスを志願するのも良い方法です。

なお、別途実施した学びたい英語タイプの調査結果は、アメリカ英語の話し言葉>イギリス英語の話し言葉>アメリカ英語の小説>アメリカ英語の新聞・・・の順でした。今後

の教材や授業コンテンツ開発の参考にさせていただきます。

貴重なご意見に感謝します。いただいた意見を参考にして、後半授業の改善に努めます。良い授業というのは、学生だけでも、教員だけでも作ることができず、両者の前向きな協力のもとにはじめて実現するものです。残りの授業も頑張っていきましょう！

神戸大学石川研究室 2014 年度前期英語オーラル中間授業評価

月 4 (経済, 経営学部 2 年)

満足度平均点 7.13

評価点

／発音がしっかり練習できる／楽しい／英語が聞き取りやすい／今まで英語を聴く習慣がなかったので、すごくいいです。／全授業が英語であること。／英語でコミュニケーションをとること。／少しでも英語を聴くようになった／英語が聞き取りやすい速度、発音で話している。／雰囲気がいい／フリートークがあるところ。／授業を英語のみで行っているながら、説明がわかりやすいので迷子にならない。／TOEIC 対策に重点を置いている。／少し早く終了するので 20 分待たなければならないはずの 16 系統御影行きバスにすぐ乗れる。／フリートークが楽しい／英語が聞き取りやすい。／日本語をしゃべらないところ。／ユーモア。／・おもしろい。／・英語に慣れることができる。／おもしろい／・おもしろい／・英語で授業が進行される／楽しい／英語の授業だが聞き取りやすい点／楽しく受けられる／今までで一番よいけどたんいはとりにくそう／先生のテンションが高い！／授業が楽しい／すべて英語／先生のキャラ最高／楽しい／わくわく／正確な発音を学べる／すべて英語なので英語に親しみやすい／／

改善点

／特になし／特にない／たまに日本語も混ぜてほしい／ないです。／特になし。／発音のテストが二回くらいチャンスがほしい／日本語も話してほしい。／リスニング難しすぎます。点取れないから単位取れる機がしません／授業はわかりやすいです／特になし。／ディクテーションの難易度が高いので予習をしても分からないことがある。／発音が多い。／ディクテーションが難しい／プリント、テキストの充実。／・たまに進度が早すぎることもある。／むずかしい／・なし／特になし／小テストの音楽ファイルが聞き取りづらい (BGM がうるさい)／難しい／とくになし／特にありません／たまには日本語もほしい／進度が速いときがある／英語なので聞き取れないときがある／／

講師コメント：授業改善に向けて

回答ありがとうございました。すべて英語による授業ということで、学生諸君の反応について若干の心配がありましたが、全体的な満足度が 7 ポイントを超えており、一定の評価が得られましたので、基本的には現在の授業スタイルで進めていきたいと考えています。

評価のポイントとしては、1)すべて英語による指導であること、2)活動が多く飽きにくいこと、3)ニュースなど内容や背景知識に興味を持てること、などが多いようです。これらの点については後半の授業でも大事に扱っていきたいと思います。

一方、改善のポイントとしては、1)内容を詰め込みすぎで時間に不足感があること、2)

発音テストへのフィードバックが不足していること、3)英語の説明でわからないときがあること、4)課題にしているディクテーションがむづかしいこと、などがあがりました。今後、時間配分についてはモジュールとモジュールの間に少し時間をおいて質問を受け付けるなど、あわただしさを少しでも改善できるよう修正を試みたいと思います。発音テストのフィードバックについては授業の枠内では個人指導が行いにくいことから、メールなどで個別指導を予約していただければ可能な範囲で対応したいと思います。説明内容については、とくに試験などの重要事項に関しては日本語のハンドアウトを初回に配布して理解の助けにしているつもりではありますが、授業の後などでも遠慮なく何度でも質問に来てもらえればと思います。

最後のディクテーションの難度については例年そうした声を聴くのですが、実際の英語がそういうものであることをふまえると、安易に難度を下げるという風な解決をとるのではなく、なんとかかふみとどまって少しでも聞き取れる部分を増やしてほしいと思います。初回にも申しましたが、英語の授業（とくに日本のような非英語圏において）では「本物の英語（authentic English）」に触れる時間をきちんと確保することが重要で、むづかしいからといって、日本人用にやさしく加工したものを教材にするよりも、そのほうが、結局は耳の訓練に良いと考えます。私自身もかつて聞き取りに苦労したので気持ちはよくわかりますが、今のつらいトレーニングの先に聞き取り力の上昇が期待できるので、もう少し頑張してほしいと思います。

なお、別途実施した学びたい英語タイプの調査結果は、アメリカ英語の話し言葉>アメリカ英語の新聞>イギリス英語の話し言葉>アメリカ英語の雑誌・・・の順でした。今後の教材や授業コンテンツ開発の参考にさせていただきます。

貴重なご意見に感謝します。いただいた意見を参考にして、後半授業の改善に努めます。良い授業というのは、学生だけでも、教員だけでも作ることができず、両者の前向きの協力のもとにはじめて実現するものです。残りの授業も頑張っていきましょう！

神戸大学石川研究室 2014 年度前期英語オーラル中間授業評価

水 1 (経済学部 1 年)

満足度平均点 7.72

評価点

／多様な授業展開があって飽きない。／・先生おもしろい／・先生英語ペラペラ／先生の発音が聞き取りやすい／日本人の自分でもわかるような発音を先生がしていること／・発音の方法が詳しくわかる。／・すべて英語授業／・発音練習が丁寧／すべて英語の授業である。／先生が教えるだけでなく、いろいろなことをする。(ディクテーションなど)／使用言語が全て英語である／教授の英語が聞き取りやすい／発音の説明が丁寧で、習得しやすい／・参加型の授業なので、集中して授業にのぞめる。／楽しい／歌を題材にしたりして取り組みやすい／日本語を話してはいけないというところ。／毎授業、ディクテーションの教材として、取り掛かりやすい有名な英語の歌を使ってくれていること。／発音するときに、口の動かし方をわかりやすく教えてくれるところ。／授業がすべて英語。／①英語で授業を受けることができる点 ②英語にとどまらず国際的な問題についても考えなければならない点 ③小テストを通して自分の能力がどの程度なのかが把握しやすい点／先生の発音／曲のやつ／・単純な出席点をつけるのではなく、参加点として取り組みの達成程度を評価するところ。／・取り上げる話題が日本からの視点だけでなく、国際的、批判的な視点から解説されており、高校以前の教育ではなかった新たな観点を与えてくれるところ。／特になし／先生の英語の発音が聞きやすい。／英語のリスニング力が身につく／発音など、話す練習だけでなくリスニングもできる／歌が楽しい／英語での授業だがモニターに全部日本語が表示されている点／英語で先生が指示をくれるので英語のリスニングの練習になること。／発音がはっきりしているので聞きやすい。／今まであまり意識していなかった発音について改めて詳しく知れたこと。／英語だけで授業をすることで自然と英語を聞き取る習慣ができる。／二人組みやグループになることで、英語でのコミュニケーション能力がつく。／・授業中先生が英語しか使わない点／・発音について詳しくおしえてくれる点／厳しい箇所はわかりやすく言い換えてくれる／発音の改善／面白い／英語の発音を一から学べるところ。／すべて英語で話す点／・授業でつかわれるのがすべて英語。／・リスニング力が培われる。／すべて英語で行われる点。／わかりやすくジェスチャーをつけてくれる点。／構成を考えて授業をしてきている点。／

改善点

／英語オンリーが、面倒臭い。／・発音テストとディクテーションがむずかしすぎます／発音のテストが緊張して厳しい／連絡事項などは、日本語で伝達してほしい／・やや難しいので、あと少し簡単な内容にしてほしい。／ 特にありません。／特になし。／ディクテーションが難しい点／／終盤が急ぎ足になってしまう点／・特になし／日本語をもっと

／重要事項は日本語で話して欲しい／自分が本当に困っているときは、日本語で言ってもわかってほしい。／ディクテーションが難しい／①小テストで失敗したときの悲しさは語りつくせないものがある点／最初のテストが難しい／・達成の程度がそのまま点数として評価されるので、きちんと単位がとれるか非常に不安である。(手を抜けるようになることはよくないと思うので、わかりやすい達成の指標があるだけでよい)／朝からテンションが高すぎてしんどい／英語ばかりがつらい／急ぎの用のときも英語で対応すること。／テストが厳しい／先生がたまに何を話しているのかわからない／特になし／得にないです／リスニング課題が難しい。／聞き取りをもっと増やしてほしい。／・英語が理解できなかったときつらい／ちょっと難しい／英語だけしか使えない点／ディクテーションが難しい／特にありません／なし／・難易度が少し低い気がする。／・会話／もう少し speaking を増やしてもよいかもしれない。／／

講師コメント：授業改善に向けて

回答ありがとうございました。すべて英語による授業ということで、学生諸君の反応について若干の心配がありましたが、全体的な満足度が7ポイントを超えており、一定の評価が得られましたので、基本的には現在の授業スタイルで進めていきたいと考えています。

評価のポイントとしては、1)すべて英語による指導であること、2)活動が多く飽きにくいこと、3)ニュースなど内容や背景知識に興味を持てること、などが多いようです。これらの点については後半の授業でも大事に扱っていきたいと思います。

一方、改善のポイントとしては、1)内容を詰め込みすぎで時間に不足感があること、2)発音テストへのフィードバックが不足していること、3)英語の説明でわからないときがあること、4)課題にしているディクテーションがむづかしいこと、などがあがりました。今後、時間配分についてはモジュールとモジュールの間に少し時間をおいて質問を受け付けるなど、あわただしさを少しでも改善できるよう修正を試みたいと思います。発音テストのフィードバックについては授業の枠内では個人指導が行いにくいことから、メールなどで個別指導を予約していただければ可能な範囲で対応したいと思います。説明内容については、とくに試験などの重要事項に関しては日本語のハンドアウトを初回に配布して理解の助けにしているつもりではありますが、授業の後などでも遠慮なく何度でも質問に来てもらえればと思います。

最後のディクテーションの難度については例年そうした声を聴くのですが、実際の英語がそういうものであることをふまえると、安易に難度を下げるという風な解決をとるのではなく、なんとかかふみとどまって少しでも聞き取れる部分を増やしてほしいと思います。初回にも申しましたが、英語の授業（とくに日本のような非英語圏において）では「本物の英語 (authentic English)」に触れる時間をきちんと確保することが重要で、むづかしいからといって、日本人用にやさしく加工したものを教材にするよりも、そのほうが、結局は耳の訓練に良いと考えます。私自身もかつて聞き取りに苦労したので気持ちはよくわ

かりますが、今のつらいトレーニングの先に聞き取り力の上昇が期待できるので、もう少し頑張ってもらいたいと思います。

なお、別途実施した学びたい英語タイプの調査結果は、アメリカ英語の話し言葉＞アメリカ英語の新聞＞イギリス英語の話し言葉＞アメリカ英語の雑誌・・・の順でした。今後の教材や授業コンテンツ開発の参考にさせていただきます。

貴重なご意見に感謝します。いただいた意見を参考にして、後半授業の改善に努めます。良い授業というのは、学生だけでも、教員だけでも作ることができず、両者の前向きの協力のもとにはじめて実現するものです。残りの授業も頑張っていきましょう！

神戸大学石川研究室 2014 年度前期英語オーラル中間授業評価

水 2 (国際文化・法学部 1 年)

満足度平均点 8.28

評価点

／発音など初めて深く意識するようになったことを学べる点／内容が楽しい点／すべて英語で授業を進めている点／授業の教材として歌を使っている点／・コミュニケーションが常に英語なので、日本語の英訳ではなくいきなり英語で答えていく感覚がつかみやすい。／／・song など、発音にとっつきやすい工夫がされている。／／・教師が非常に模範的な紳士というイメージで聞いていてとても心地よい。／みんなと話すのが楽しい。／・楽しく話せる／とてもよい／・授業がすべて英語／・フリートークがある点／歌詞の聞き取りが楽しい／発音練習ができる／リスニング対策になる／オールイングリッシュなので頭が動いて勉強になる／この間 toeic の練習をやらせて、形式がよくわかった／毎回リスニングがある／・移動時間に英語を聞くことが習慣になった。／・英語による授業なので集中力が保たれる。／話がおもしろい／幅広く学ぶことができる／・SONG が楽しいしすごく効果的な dictation の勉強法だと思う／・発音の授業がわかりやすい／先生が面白くて、明るい／英語の曲を聴く機会が増えた／全部英語で授業するところ／・歌詞の聞き取りが楽しい／・発音の採点を厳しくされる点／・先生の性格／英語の発音や聴解の向上などより実際の英会話に役立つところ／すべて英語のところ♪／リスニングが毎日あるところがいい／・すべて英語で授業をすすめてくれる／・英語をしゃべる機会がある／・段どりが決まっていて、授業を受けやすいところ／・わかりにくい英単語は説明してくれるところ／わきあいあいとした雰囲気の中、楽しく英語を学べる点。／発音をしっかり学べる点／リスニングテスト・フリートーク・歌詞穴埋めなど授業の構成が眠たくならないように工夫されていて楽しく授業をうけることができる点／一回の授業で様々な内容を学習できる／毎回テストやグループワークがあるので意識を高く保てる／・リスニングの練習ができる／授業が英語で進む／テンポがいい／・ニュース内容の聞き取りなど、実践的な内容である点／・フリートークの実施／（自分の英語力のなさを痛感しました）／・洋楽の聞き取り／（楽しんで学べるため）／洋楽の歌詞を聞き取るのが、自分の知らない歌も同時に知ることができるのでとても面白いです。／すべて英語で講義される点／毎回、テーマとなる話題が興味深い点／先生がすべて英語で話しているところ／発音をくわしくやるところ。／課題が比較的楽なところ。／けっこう楽しいところ。／授業をテーマごとに分割している点。／先生が面白い／発音のテストがあるところ／グループワークで点数をもらえるところ／高校までの英語学習であいまいになりがちだった発音をわかりやすく教えてくれる。／

改善点

／発音が正しくないことをクラス全員の前でばらされること／特にありません／・欲を言えば、FTの時間をもう少しいただきたいです。／もうすこし音楽を聞きたい。／・話す場面が意外と少ない／とくになし「／・まんべんなく当ててほしい／特になし／発音のプリントがほしい／特になし／・ディクテーションの難易度が少し高く、毎日聞いても正しく聞き取ることができない。／特になし／発音小テストで自分の発音はどこか間違えたのかを教えてほしい／・DICTの音が聞き取りにくいし難易度が高い／もうちょっとフリートークの時間が増やせばうれしい。／とくになし／・特になし／発音の説明がもっとあってほしい／ないです♪／間違った英語の発音を押し付けている／学生、そして学生の努力を馬鹿にしている／特になし／・文字を全部読む前にスライドが切り替わってしまうこと。／ディクテーション課題がととても難しく、しっかり聞いてきてもなかなか聞き取れません。／もうすこし易しくをお願いします。／みんなに満遍なく当ててほしい／全体的に時間配分が短い／・発音練習の時間をもう少し取るか説明を詳しくしてほしい／英語で話すとき便利なフレーズを教えてほしい／・；課題ディクテーションとして与えられているものが個人的には非常に難しく、予習しても聞き取れないため、予習として成り立てることができません。／ディクテーションのテストが難しいです。事前に家で聴いてきてもほとんどわかりません・・・。／特になし／生徒にもっと英語を話させたほうが良い／とくになし。／特にありません。／はやすぎ／小テストが難しい／特にありません。／

講師コメント：授業改善に向けて

回答ありがとうございました。すべて英語による授業ということで、学生諸君の反応について若干の心配がありましたが、全体的な満足度が8ポイントを超えており、一定の評価が得られましたので、基本的には現在の授業スタイルで進めていきたいと考えています。

評価のポイントとしては、1)すべて英語による指導であること、2)活動が多く飽きにくいこと、3)ニュースなど内容や背景知識に興味を持てること、などが多いようです。これらの点については後半の授業でも大事に扱っていきたいと思います。

一方、改善のポイントとしては、1)内容を詰め込みすぎで時間に不足感があること、2)発音テストへのフィードバックが不足していること、3)英語の説明でわからないときがあること、4)課題にしているディクテーションがむづかしいこと、などがあがりました。今後、時間配分についてはモジュールとモジュールの間に少し時間をおいて質問を受け付けるなど、あわただしさを少しでも改善できるよう修正を試みたいと思います。とくにFTの時間確保に留意したいと思います。発音テストのフィードバックについては授業の枠内では個人指導が行いにくいことから、メールなどで個別指導を予約していただければ可能な範囲で対応したいと思います。説明内容については、とくに試験などの重要事項に関しては日本語のハンドアウトを初回に配布して理解の助けにしているつもりではありますが、授業の後などでも遠慮なく何度でも質問に来てもらえればと思います。

最後のディクテーションの難度については例年そうした声を聴くのですが、実際の英語

がそういうものであることをふまえると、安易に難度を下げるという風な解決をとるのではなく、なんとかふみとどまって少しでも聞き取れる部分を増やしてほしいと思います。初回にも申しましたが、英語の授業（とくに日本のような非英語圏において）では「本物の英語（authentic English）」に触れる時間をきちんと確保することが重要で、むつかしいからといって、日本人用にやさしく加工したものを教材にするよりも、そのほうが、結局は耳の訓練に良いと考えます。私自身もかつて聞き取りに苦労したので気持ちはよくわかりますが、今のつらいトレーニングの先に聞き取り力の上昇が期待できるので、もう少し頑張してほしいと思います。

なお、授業で扱っている発音への疑問の声もありました。授業では、狭い意味でのイギリス英語やアメリカ英語ではなく、広く世界の学術やビジネス分野で使用されている通用性の高い（相手にとって聞き取りやすい／コミュニケーションしやすい）国際英語の発音に焦点を当てています。指摘のように、発音は押し付けるといふべきものではなく、世界の多様な発音の1種としてそうしたものにもなじんでいただきたいというのが趣旨です（要は自分の中に複数の英語の発音システムが備わり、相手によって使い分けることができればベストでしょう）。もちろん、国際英語ではなく、イギリス人やアメリカ人のネイティブの発音感覚というものはあるので、そうした部分に関心があれば、通常の授業に加え、ぜひ、KALCSの「プレゼンテーションセミナー」などを受講してください（空席がまだあるそうです）。音声面を含め、総合的な英語力を磨くいい機会になるはずです。また、後期に上級クラスに入ればネイティブの指導を豊富に受けることもできます。なお、発音テストでは、国際的な仕事の場面での通用性という観点から評価をしています（その意味では声が小さかったり発音が明瞭でなかったりすればネイティブスピーカーやネイティブなみの帰国生の方にペケをつけることも十分ありえます。失礼の段はご海容を）。こと英語学習に関して、学生諸君の努力を応援する気持ちこそあれ、否定する意図はまったくありません。もしなにか気になることがあれば授業後などに申し出てください。

なお、別途実施した学びたい英語タイプの調査結果は、アメリカ英語の話し言葉＞イギリス英語の話し言葉＞アメリカ英語の小説＞アメリカ英語の新聞・・・の順でした。今後の教材や授業コンテンツ開発の参考にさせていただきます。

以上、貴重なご意見に感謝します。いただいた意見を参考にして、後半授業の改善に努めます。良い授業というのは、学生だけでも、教員だけでも作ることができず、両者の前向きの協力のもとにはじめて実現するものです。残りの授業も頑張っていきましょう！

神戸大学石川研究室 2014 年度前期英語オーラル中間授業評価

水4 (医学部1年)

満足度平均点 8.20

評価点

／話す英語がわかりやすいです。／楽しい雰囲気／1回の授業でやることが多く、それらがあらかじめ示されているので、充実感がある。／教授がすべて英語で授業を行う点／教授の英語が非常に聞き取りやすく、理解しやすい点／全部英語なので甘えがない／普段あまり英語を聞くことがないので授業がすべて英語なのはとてもいい刺激になっています。／教授がフレンドリー／発音を一から教えてもらえる点。／雑学も英語とともに学べる点。／・先生がわかりやすくゆっくりとしゃべってくれる点／・グループで協力してリスニングに打ち込める点／発音の練習が本格的にできる点。／発音のテストがあり、また石川教授の話も面白い。／リスニングのスキプトの英語に関する解説だけでなく、背景まで詳しく解説をしてくださること。／発音について詳しく学べる点／英語を勉強しなければならぬという気分になるところ／発音が学べる／・話の内容が面白い／・英語が聞き取りやすい／わかりやすいようにボディーランゲージを混ぜてくれるのでわかりやすい。／授業をすべて英語でするため、英語になれることができる点。／わかりやすいようにボディーランゲージを混ぜてくれるのでわかりやすい。／・発音についてかなり詳しく指導してくださる点／・取り組んだ課題の背景についてまで教えてくださる点／・能動的な作業が多い。／・楽しい／すべてが英語というのは、リスニング力や必要な情報を聞き取る力を上達させることができるため、とてもよい世思います。／説明「がすべて英語である点。／生徒が参加して作りあげる授業なので集中力が切れない。／先生が面白い。／先生が常にハイテンションなのでいつも授業が楽しいです。／発音がよくなっていることを授業ごとに実感できてはげみになります。／・授業中はすべて英語で会話する点／・英語だけでなく世界のことにたくさん学べる点／先生が英語で話してくださるので英語を聞いたり話したりすることに対する抵抗が薄れます。また、講義や発音の練習も毎週楽しみにしています。／教師の英語が非常にわかりやすい。／授業が生徒参加型であること。／・授業がすべて英語で行われるところ。／・毎回の授業で取り上げられるニュースの題材が興味深いものばかりである。／発音やリスニングが多く、今まで苦手だった部分も楽しく学習できるようになってきた／リスニング力が少しずつ上がっているように感じる／英語の歌を聴くのが楽しい／有意義なお話を聞ける点。／毎週ディクテーションがあり、英語のニュースを聴き取る力がついて将来役に立つだろうと思います。／歌詞を聴き取るコーナーが毎回楽しいです！／カリキュラムを細かくきっちり決めているところ。発音に重きをおいているところ。／英語を常に耳で聞くことができる点。／海外の文化を知ることができる点。／有意義な話が聞ける／先生が常にハイテンション わかりやすい英語で本当にためになる／普段日常生活をしていて英語をしゃべる機会がないので、英語を

積極的にしゃべるいい機会になる／

改善点

／特にないです。／とくになし／（授業の改善点ではありませんが）授業はじめのリスニングテストの答えをラインで回している人がいること／特になし／厳しい／単位認定が厳しそうで不安です。／発音テストの判定が厳しい／ありません／・ディクテーションテストをもっとやさしくしてほしい／発音の仕方の説明をもっと詳しくかつ、時間をかけてほしい。説明がシンプルすぎる気がする。／なし。／特にありません。／先生はネイティブのような発音でなくとも、共通言語としての英語の発音でいいといっているが、米国語に照準を合わせて学習するべきだと思う。／単位が取りづらい／・質問に答えるのが難しい（自分はそのレベルに達していない）／発音のテストがシビアなこと。／発音テストの頻度をもう少し減らしてほしい。／発音のテストがシビアなこと。／一回発音のテストに落ちてしまうと、次の週は違う発音のテストがまっているので、／改善される機会がない点／・nothing special.／せっかくなので、コンピュータを活用すればよいと思う。／説明が聞き取れないときがあるので、授業中でやる課題について何度か説明を繰り返してほしい。／トーフルのワークショップの平常点がすごく高いと思います。／体調が悪いときに受けると、悲惨な結果が待ち構えています。／3回くらいワークショップをしていただけるのなら平常点が50点でも納得がいきます。／救済措置をすべきです。／特になし／コンピュータをもっと積極的に活用したらよいと思います。／TOFLEの小テストが成績にそこまで影響をあたえるとは思っていなかったのが驚いた。／前に告知しておいてほしかった。／・発音の練習について、一人ずつテストをしていくやり方はいいと思うが、間違っている人には何がおかしかったのかを指摘いた方がよいと思う。／課題のリスニングが難しすぎて毎回つらい／発音の練習時間がもう少しほしい／授業時間外の質問は日本語でさせてほしい／ノリで発音テスト0点にするところ／今のところ特にありません。Nothing special.／発音の仕方をもうちよっとわかりやすく細かく教えてほしい。／発音のテストを0点と5点のみにしないでほしいです。ぜひ中間点も。／よく練られていると感じたので特にないです。／からみがめんどくさい／発音テストがシビア／英語がまるっきりできずに神戸大学に入学した人もいます。そういう人たちに対しては何らかの救済措置をとるべきだと思います。／／／

講師コメント：授業改善に向けて

回答ありがとうございました。すべて英語による授業ということで、学生諸君の反応について若干の心配がありましたが、全体的な満足度が8ポイントを超えており、一定の評価が得られましたので、基本的には現在の授業スタイルで進めていきたいと考えています。

評価のポイントとしては、1)すべて英語による指導であること、2)活動が多く飽きにくいこと、3)ニュースなど内容や背景知識に興味を持てること、などが多いようです。これ

らの点については後半の授業でも大事に扱っていきたいと思います。

一方、改善のポイントとしては、1)内容を詰め込みすぎで時間に不足感があること、2)発音テストへのフィードバックが不足していること、3)英語の説明でわからないときがあること、4)課題にしているディクテーションがむづかしいこと、などがあがりました。今後、時間配分についてはモジュールとモジュールの間に少し時間をおいて質問を受け付けるなど、あわただしさを少しでも改善できるよう修正を試みたいと思います。発音テストのフィードバックについては授業の枠内では個人指導が行いにくいことから、メールなどで個別指導を予約していただければ可能な範囲で対応したいと思います。説明内容については、とくに試験などの重要事項に関しては日本語のハンドアウトを初回に配布して理解の助けにしているつもりではありますが、授業の後などでも遠慮なく何度でも質問に来てもらえればと思います。

最後のディクテーションの難度については例年そうした声を聴くのですが、実際の英語がそういうものであることをふまえると、安易に難度を下げるという風な解決をとるのではなく、なんとかかふみとどまって少しでも聞き取れる部分を増やしてほしいと思います。初回にも申しましたが、英語の授業（とくに日本のような非英語圏において）では「本物の英語（authentic English）」に触れる時間をきちんと確保することが重要で、むづかしいからといって、日本人用にやさしく加工したものを教材にするよりも、そのほうが、結局は耳の訓練に良いと考えます。私自身もかつて聞き取りに苦労したので気持ちはよくわかりますが、今のつらいトレーニングの先に聞き取り力の上昇が期待できるので、もう少し頑張してほしいと思います。

なお、授業で扱っている発音タイプへの意見もありました。授業では、狭い意味でのイギリス英語やアメリカ英語ではなく、広く世界の学術やビジネス分野で使用されている通用性の高い（相手にとって聞き取りやすい／コミュニケーションしやすい）国際英語の発音に焦点を当てています。ただ、国際英語の発音を押し付けるというのではなく、世界の多様な発音の1種としてそうしたものにもなじんでいただきたいというのが趣旨です（要は自分の中に複数の英語の発音システムが備わり、相手によって使い分けることができればベストでしょう）。国際英語ではなく、イギリス人やアメリカ人のネイティブの発音感覚というものはあるので、そうした部分に関心があれば、通常の授業に加え、ぜひ、KALCSの「プレゼンテーションセミナー」などを受講してください（空席がまだあるそうです）。音声面を含め、総合的な英語力を磨くいい機会になるはずです。後期に上級クラスに入ればネイティブの指導を豊富に受けることもできます。なお、発音テストでは、国際的な仕事の場面での通用性という観点から評価をしています（その意味では声が小さかったり発音が明瞭でなかったりすればネイティブスピーカーやネイティブなみの帰国生の方にペケをつけることも十分ありえます。失礼の段はご海容を。後半では中間点が増えてきます）。

また、単位が取れないのではという心配の意見も散見されましたが、授業でも申したよ

うに、普通にやっていたら心配無用です。ワークショップの配点50点も、通常授業が1回30点(ディクテ10+発音5+グループ10))で、その2回分未満です。最後はすべての回の平常点を百分率化しますので比率は限定的です。仮に思った成績でなくてもあまり気にされないでください(※詳細は初回のハンドアウトを確認ください)。私見ですが、高校までは、間違えないことが大事なのですが、大学ではどんどん間違えて、そこから学ぶことがはるかに大事だと思います。とくに発音の場合、ぜったい、showだと思ったのに答えはsureだった・・・こういう間違いをするからこそ、はじめて自分の頭の中にあるr音のイメージと本当の音のイメージの乖離に気づくことができ、今度同じ現象に出会ったときに対処できるようになるのです。間違えなければ意識化するチャンスも失われ、できないままになるおそれがあります。英語の苦手意識というのは日本人誰も持つわけですが、前向きの自信をもって取り組んでいただければと思います。「英語がまるっきりできずに神戸大学に入学した人もいる」というようなことを医学部生がおっしゃるのは、いささか謙遜がすぎるといえるものかもしれません。もう受験は終わったのですから、どんどん間違えて、どんどん新しいことを知る、そんな方向でのみなさんの学びの充実を期待します。

なお、別途実施した学びたい英語タイプの調査結果は、アメリカ英語の話し言葉>アメリカ英語の話し言葉>アメリカ英語の新聞>イギリス英語の雑誌・・・の順でした。今後の教材や授業コンテンツ開発の参考にさせていただきます。

以上、貴重なご意見に感謝します。いただいた意見を参考にして、後半授業の改善に努めます。良い授業というのは、学生だけでも、教員だけでも作ることができず、両者の前向きの協力のもとにはじめて実現するものです。残りの授業も頑張っていきましょう！

神戸大学石川研究室 2014 年度後期中間授業評価フィードバック

対象学部：工学部

調査日時：5 週目冒頭（2014/10/28）

回答数 N=37

全体満足度 Av=7.9 (SD=1.6)

【評価できる点】

英語で会話する機会が出来て良い。／発音の練習になる点／特になし。／授業が楽しい／説明がわかりやすい／面白い／おもしろい。／前期の先生と比べて先生にやる気が感じられる。／発音についての講義がとてもためになる。／全部英語で授業してる点／いろいろな工夫されてて面白い。／眠くならないこと。／楽しめること。／すべて英語なのでリスニング力がつくと思う。／ユーモアをまじえるので、退屈な授業にならない。／発音を一音ずつ学ぶことがなかったので、新鮮である。／音声学などこれまでの英語の授業でやったことのないような目新しい内容が扱われている点／シラバスが詳しい点／先生のテンションが高い／なんとなく楽しい／英語が苦手でも先生の言っていることが大体わかる／楽しく実用的な英語を学べるのでとてもいいと思った。／発音聞き取りの本当の力がつく／毎回興味を持てるような話題について取り上げてくれること。／特になし。／授業のテンポがよい。／発音の練習をしてくれるのがよい。／すべて英語で授業をするのでリスニング力が備わる。／授業内容のひとつひとつでやっている意味がしっかりと分かるので重要な部分分かる。／退屈でないこと。／授業が英語だけしか話せないのでも英語に触れる。／洋楽を使ったりして授業をするのも楽しい。／楽しみながら学ぶことができる。／先生との交流もでき、学びやすい空気ができている／すべて英語なのでリスニング力があがり。ディクテーションも難易度が高いのでためになる。／明快な進行ステップ／内容の面白さ（題材の興味深さ）／ディクテーションの題材が毎回興味深い。／今までに挑戦したことのない洋楽のディクテーションを授業でできたこと。／英語でしか会話ができない環境が作られていること。／難しい単語を使わず、わかりやすい文章をはなしてくれる。／すべて英語／すべて英語なのでオーラルの技術が上がりそうだと思う／発音を理論的に学べること／90 分フルに使える進行／各パートですることがわかりやすい／授業がすべて英語で行われているので、英語がより身近に感じるし、英語をより楽しんで学ぶことができる点／発音をわかりやすく教えてくださる点。／英語を学ぶと同時に、社会的なことも学べる点。／英語の授業は基本的にやることなく退屈だがこの授業はやることで楽しい／おもしろい／撥音の練習／すべて英語で話していること。／英語の歌などを取り入れ飽きさせない点

【改善すべき点】

特になし／成績のつけ方がストイックすぎる／特になし。／特になし／遅刻を赦してほし

い／とくにない。／特になし。／プリントの文字を少し大きくしてほしい／最初の小テストの難易度が難しすぎる。／会話の時間が長いこと。／授業最初のリスニングテストの難度が高い。／すべて英語のため、話してること自体がどれだけ理解できているかわからない。／スライドも英語にしてしまってもよいのでは？と思う／朝から D 棟の五階はなかなかにつらい。／ディクテーション開始まで 5 分ぐらい待つしてほしい／ディクテーションが難しいところ。／特になし。／予習がすごく難しい。／特になし。／ない。／特になし。／チャイムの前に授業を始める点／英語で話されるため、理解しきれず、そのまま続行してしまうので戸惑うことがまれにある／free talk は必要なのかどうか／授業アンケートの時間が短すぎる。／聞き取りの小テストについて、英語を聞き取る力が無いと予習しても辛い。／（慣れたから点が伸びるわけでもないと思う、下がることは無いが／授業中に 3 回聞いて分からないものは予習で何度聞いても分からない。）／日本人が英語を聞き取りを行う方法を、論理的に解説してほしい。／1 限で遅刻厳禁が厳しい。／特になし。／より多くの生徒にこの授業を提供してもらいたい。／特になし。／特になし／時間に追われる感じがする。もう少し解答する時間を増やしてくれてもいいと思う。座席指定にしてくれたらなお良し。／なし／もっとさまざまな分を用いて発音の勉強をしたい／歌を聴いて言葉を埋める問題の答え合わせの際に、同じところを繰り返し過ぎだと思う。気持ち悪くなってしまう。3、4 回で十分だと思う。／最初のリスニングテストが難しい／特になし／撥音のテスト／もっと発音よくしゃべってほしい。／フリートークの問題が少し考えにくい

講師コメント：授業改善に向けて

回答ありがとうございました。すべて英語による授業ということで、学生諸君の反応について若干の心配がありましたが、全体的な満足度が 7 ポイントを超えており、一定の評価が得られましたので、基本的には現在の授業スタイルで進めていきたいと考えています。評価のポイントとしては、1)すべて英語による指導であること、2)活動が多く飽きにくいこと、3)ニュースなど内容や背景知識に興味を持てること、などが多いようです。これらの点については後半の授業でも大事に扱っていきたいと思います。

一方、改善のポイントとしては、1)内容を詰め込みすぎで時間に不足感があること、2)英語の説明でわからないときがあること、3)課題にしているディクテーションがむづかしいこと、などがありました。今後、時間配分についてはモジュールとモジュールの間に少し時間をおいて質問を受け付けるなど、あわただしさを少しでも改善できるよう修正を試みたいと思います。説明内容については、とくに試験などの重要事項に関しては日本語のハンドアウトを初回に配布して理解の助けにしているつもりではありますが、授業の後などでも遠慮なく何度でも質問に来てもらえればと思います。ディクテーションの難度については例年そうした声を聴くのですが、実際の英語がそういうものであることをふまえると、安易に難度を下げるという風な解決をとるのではなく、なんとかふみとどまって少し

でも聞き取れる部分を増やしてほしいと思います。初回にも申しましたが、英語の授業（とくに日本のような非英語圏において）では「本物の英語（authentic English）」に触れる時間をきちんと確保することが重要で、むつかしいからといって、日本人用にやさしく加工したものを教材にするよりも、そのほうが、結局は耳の訓練に良いと考えます。トレーニングの先に聞き取り力の上昇が期待できるので、もう少し頑張してほしいと思います。以上、皆さんからの貴重なご意見に感謝します。いただいた意見を参考にして、後半授業の改善に努めたいと思います。良い授業というのは、学生だけでも、教員だけでも作ることができず、両者の前向きな協力のもとにはじめて実現するものです。残りの授業も頑張っていきましょう！

神戸大学石川研究室 2014 年度後期中間授業評価フィードバック

対象学部：法学部

調査日時：5 週目冒頭（2014/10/28）

回答数 N=31

全体満足度 Av=8.1 (SD=1.3)

【評価できる点】

全部英語／英語力の向上／課題が少ない／先生が面白い。課題が少ない。／授業が全部英語で行われる点／全部英語でおこなわれるが、理解の補助としてスライドが用意されていること／きちんと準備された授業であること／先生の教える意欲、熱が伝わってくる点／授業中すべての説明が英語だが、比較的平易な英語で話してくれているのでわかりやすい。／発音方法を理論的に説明してくださるので、とても分かりやすい。また、授業がモジュール毎に構成されており、楽しんで受講することができている。／週一回の英語が耳に残る／発音について詳しい説明がある／授業が英語なので実践的／リスニングが毎回あるので英語を聞く習慣ができる／発信力をつけさせるようにしている点／教師の英語の発音がとてもよい点（説得力が違う）／明らかにひとつの教科が課してよい分量を超えた課題を出さない点／スピーディー／毎授業の行程が示されている。／面白い話、興味深い話を交えて授業をしてくれるところ。／発音の仕方がとてもわかりやすい／授業でやること示されていてモチベーションが保たれる／洋楽の問題を解くのがとても楽しい／予習が少ない点。／基本的に先生が英語で話すために英語力がつくと思う。／先生が非常に面白い。／先生が非常に個性的。／とにかく先生がすばらしい。／コミュニケーション能力の訓練になると同時に、トピックが興味深いもので楽しい。／予習が少ない／発音についてしっかり教えてもらえる／歌のリスニング／大げさでわかりやすい発音／テンションがあがる／英語勉強しているような気になれる／眠くならない／面白い／知的好奇心がくすぐられる／始終、英語でお話になるので英語の音に慣れる点。／プレゼンが面白い点。／楽しくて面白くて愉快。／真剣に取り組んで学ぶことができる。／先生の話が面白い。／授業がスムーズ／授業内容が色々あって面白い／先生がユーモラス／リスニングや発音や曲を聴くなどいろいろなことができる／英語の発音の仕方をしっかり学べる点。／フリートークで自分の考えを英語で伝えられるように努力できる点。／ALL ENGLISH 授業／発音も丁寧にしてくれる／一コマの授業でバランスよく教えてくれる／授業が全て英語で進められるので英語への抵抗感を減らすことができそう／先生の話す英語が平易でわかりやすいのでなんとなく英語できるんじゃないか感が味わる／先生がおもしろい／英語での授業／おもしろいところ。

【改善すべき点】

生徒同士の相談も日本語にすべき／歌のリスニングの繰り返しが多い／先生のイントネー

ションがわかりやすい反面怖いです／先生が怖い。／発音の練習時間が短い点／とくになし／特筆すべき点なし／特になし。／リスニングをもう少しやさしくしてほしい／発音の練習時間がもう少しあるといい／ディクテーションの紙が小さいのももう少し大きくしてほしい。／なし／リスニングが大変／特にありません。／強いて言えば電車の遅延による遅刻は許していただきたいです。／もうすこし日本語つかってほしいです／特になし。／日本語で話してほしい。／特にありません。／発音テストの際、あまり発音練習をする時間がとられていない／5分の遅刻は許してほしいです。／組むペアによって評価点が上下するのはいかなものか？／理解できなくもないが、「多大な英語の勉強の労力」＜「英語が得意な人とのつて or コミュニケーション能力」となる可能性がある。／あと、ディクテーションの宿題がめんどくさいです。／ノートを十分にとる時間がない点。／リスニングテストの難易度を下げて欲しい。／（^。^）／特になし／日本語で話してください／特にありません。／歌詞の穴埋めは班のメンバーによって正答率が変動する／発音テストのとき後ろの人の少し聞こえづらいと思うので近づくなどの配慮を／まとめませんでした／遅刻が厳しい／点数設定が厳しい／

講師コメント：授業改善に向けて

回答ありがとうございました。すべて英語による授業ということで、学生諸君の反応について若干の心配がありましたが、全体的な満足度が8ポイントを超えており、一定の評価が得られましたので、基本的には現在の授業スタイルで進めていきたいと考えています。評価のポイントとしては、1)すべて英語による指導であること、2)活動が多く飽きにくいこと、3)ニュースなど内容や背景知識に興味を持てること、などが多いようです。これらの点については後半の授業でも大事に扱っていきたいと思います。

一方、改善のポイントとしては、1)内容を詰め込みすぎで時間に不足感があること、2)英語の説明でわからないときがあること、3)課題にしているディクテーションがむづかしいこと、4)班のメンバーによるグループワークの不公平感などがあがりました。今後、時間配分についてはモジュールとモジュールの間に少し時間をおくなど、あわただしさをいっくら改善できるようにしたいと思います。説明内容については、日本語のハンドアウトも初回に配布していますが、授業の後でも遠慮なく質問に来てもらえればと思います。ディクテーションの難度については、安易に難度を下げるというよりも、なんとかふみとどまって少しでも聞き取れる部分を増やしてほしいと思います。初回にも申しましたが、英語の授業（とくに日本のような非英語圏において）では「本物の英語（authentic English）」に触れる時間をきちんと確保することが重要で、むづかしいからといって、日本人用にやさしく加工したものを教材にするよりも、結局は耳の訓練には早道だと考えます。いささか辛いかもしれませんが、そうしたトレーニングの先には必ず聞き取り力の上昇が期待できるので、もう少し頑張っていたいただければと思います。最後に、班については、固定メンバーではありませんので、自由にいろいろな人と組んでもらって結構です。最近の仕事の現

場では、性格の異なる仲間との共同作業で成果を上げることも求められるようになってきました。いろいろな仲間と英語を共同で聞き取ったり、読み取ったりする体験を重ね、自分の得意なところは周りを助け、不得意なところは助けてもらう、そういう過程を経て、皆が仲間とともに伸びてゆく、いささか理想主義に過ぎるかもしれませんが、そうした協働の理念がこのささやかな英語クラスの実践の中から生まれればと思います。

以上、皆さんからの貴重なご意見に感謝します。いただいた意見を参考にして、後半授業の改善に努めたいと思います。良い授業というのは、学生だけでも、教員だけでも作ることができず、両者の前向きな協力のもとにはじめて実現するものです。残りの授業も頑張っていきましょう！